

維持管理計画

1. 作業時間

運転時間：24時間

2. 公害防止対策

1. 排ガス対策

(1) ばいじん

本施設では、ばいじん防止のために、バグフィルタ（ろ過式集じん器）によりばいじんを除去します。

(2) 塩化水素

塩化水素（HCl）は、バグフィルタの前段に設置された有害ガス除去装置で、消石灰を噴霧して中和反応させた後、反応生成物を後段のバグフィルタで補修します。

(3) 硫黄酸化物

硫黄酸化物（SO_x）は、バグフィルタの前段に設置された有害ガス除去装置で、消石灰を噴霧して中和反応させた後、反応生成物を後段のバグフィルタで補修します。

(4) ダイオキシン類

①焼却炉での十分な燃焼

ダイオキシン類の発生を抑制するためには、完全燃焼を達成することが必要であり、このためには、以下の対策を行います。

- ・高温燃焼（800℃以上）
- ・十分なガスの滞留時間（2秒以上の滞留時間）
- ・燃焼空気との十分な混合

これらを達成するため、本設備では、焼却炉の温度を監視して、温度が低下した場合は、助燃バーナにより炉内温度を800℃以上に保つことができる設備とします。

②再合成を防ぐ排ガス処理装置

本設備では、ダイオキシン類の再合成を防止する為、排ガス急冷設備を設置し、排ガス温度を一気に200℃以下まで冷却し、再合成を抑制します。

③ダイオキシン類を除去する装置

さらに、微量のダイオキシンを除去するために、本施設では、バグフィルタの前段に吸着力の高い活性炭を吹き込み、ダイオキシン類を活性炭に吸着させ、バグフィルタで補修する方法を採用します。また、バグフィルタ後に触媒装置を設け、ダイオキシン類を分解除去します。

3. 悪臭防止対策

排ガス中の臭気は、燃焼室で高温（800℃以上）に保持して完全燃焼し、臭気成分を分解して脱臭します。

4. 排水処理

本施設から排水は発生しません。

5. 防音対策

騒音、振動への影響が懸念される押し込み送風機、誘引送風機はサイレンサを設置し、コンプレッサについては低騒音型を設置し又、基礎を強固にして、騒音、振動の低減を図ります。

6. 保管計画

搬入廃棄物は屋内のピット、タンク及び密閉容器にて保管します。保管期間については、所定の期間内とし速やかな処理を行います。

既存施設、新施設及び自主基準値の比較について

| 法律 | 項目 | 旧施設 | 新施設 | | 単位 | 備考 |
|--------------------|---------|------|------|-------|-------------------------|---------------|
| | | 法基準値 | 法基準値 | 管理目標値 | | |
| ダイオキシン類対策 特別措置法 | ダイオキシン類 | 5 | 0.1 | 0.09 | ng-TEQ/N m ³ | 酸素濃度 12%換算 |
| 大気汚染防止法 | ばいじん | 0.15 | 0.04 | 0.036 | g/N m ³ | 酸素濃度 12%換算 |
| | 硫黄酸化物 | 8.76 | 8.76 | 4.00 | — | K値 |
| | 窒素酸化物 | 250 | 250 | 225 | ppm | 酸素濃度 12%換算 |
| | 塩化水素 | 700 | 700 | 500 | mg/N m ³ | 酸素濃度 12%換算 |

新施設と旧施設における環境対策の比較について

| 項目 | 旧施設 | 新施設 |
|--------|--|--|
| 騒音対策 | <ul style="list-style-type: none"> ○建屋の壁は遮音性の高いALC100 使用 ○敷地境界に高さ2mの防音壁を設置 ○誘引ファンには防音ボックスを設置 | <ul style="list-style-type: none"> ○建屋の壁は遮音性の高いALC100 使用 ○敷地境界に高さ4mの防音壁を設置 ○誘引ファンには防音室を設置 ★バーナーには吸音材付防音壁設置 ★ポンプには防音ボックス又は防音壁を設置 ★車両出入り口シャッターは、午後7時から午前7時まで閉めた状態とする |
| 振動対策 | <ul style="list-style-type: none"> ○コンクリート基礎 | <ul style="list-style-type: none"> ○コンクリート基礎 ○防振ゴムによる防振対策とする |
| 臭気対策 | <ul style="list-style-type: none"> ○ピット室は密閉性が保持できる部屋とし、臭気の漏洩を防ぐ | <ul style="list-style-type: none"> ○ピット室は密閉性が保持できる部屋とし、臭気の漏洩を防ぐ ○ピット室を負圧にすることで臭気の漏洩を防ぐ |
| 大気汚染対策 | <ul style="list-style-type: none"> ○バグフィルターによるばいじん除去 ○消石灰によりSO_x、NO_xを中和 ○活性炭によりダイオキシン類除去 | <ul style="list-style-type: none"> ○バグフィルターによるばいじん除去 ○消石灰によりSO_x、NO_xを中和 ○活性炭によりダイオキシン類除去 ★触媒装置によりダイオキシン類濃度を低減 |
| 排水対策 | <ul style="list-style-type: none"> ○クローズドにより排水なし ○雨水、汚水をろ過し場内処理 | <ul style="list-style-type: none"> ○クローズドにより排水なし ○雨水、汚水をろ過し場内処理 |

株式会社明輝クリーナーの産業廃棄物処理施設の設置に係る

意見書の提出について

1 意見書の件数について

- 豊橋市・・・1件
- 湖西市・・・4件

2 意見の概要

【豊橋市】

① 24時間操業について

- ・焼却物について確保が十分にできるのか。
- ・廃棄物量が不足した場合の対応策はどのようなか。

② ばいじんの定義について

- ・集じん施設以外から発生する灰（主灰）の判断と毒性評価に係る科学的な根拠はどのようなか

③ 雨天時の排ガスへの対応について

- ・雨天時には大量の白煙化したガスが視覚的に映り、住民不安の原因となるが、白煙化の対策をどのように行うのか。

④ 放射性廃棄物について

- ・規制値改定後の放射性廃棄物について、産業廃棄物として取扱いをしないのか。

⑤ 自主管理目標値について

- ・法令基準値の10～100分の1以下の目標値を自主管理目標とすることが一般的であるが、どのようにお考えか。

⑥ 土壌汚染について

- ・重金属類に起因する土壌汚染については確認は行わないのか。

⑦ 液状廃棄物について

- ・液状の廃油、廃酸、廃アルカリをタンクで貯蔵することとなるが、入れ間違い等を未然に防ぐ対策等は検討しているのか。

⑧ 完成後の焼却炉内、1次燃焼室、2次燃焼室の第3者による確認について

- ・申請のあった設計書に記載された焼却炉の容積等について実測による確認が必要ではないのか。

⑨ 時間当たりの焼却量について

- ・焼却量について、クレーンバケットをもとに算出することとなるが、算出根拠とした理由は何か。

⑩ 施設で働く従業員について

- ・従業員の労働環境への対策についてどのようにお考えか。

⑪ 燃焼温度等の連続データの掲示板化について

- ・産廃施設で焼却に係るデータの確認を行うにあたり、他者が容易に確認できる掲示板等は設置しないのか。

【湖西市】

- ① 調査対象地域を湖西にも増やしてほしい。

- ② 緊急時連絡体制に湖西も含めてほしい。

- ③ 燃え殻及びばいじんの処分について外部委託とあるが、どのような業者に委託するのか。

- ④ 15品目の混焼による発熱量は一定にならず、焼却中に化学変化して複合汚染を引き起こす可能性はないのか。